



2026(令和8)年

4月号

Vol.379

# 星のたより



☆今月の豆知識☆ **か**んぼうかい(観望会)の今年のメニューは、「メシエ天体」が多くなってよ。「メシエ」はシャルル・メシエという人の名前で、すい星搜索で有名だったんだって。すい星と紛らわしい星雲とか星団に番号を振って、一覧表を作ったのがメシエ天体。1番から110番まであって、M1とか、M110とか呼ばれるんだよ。M78星雲は実在するけど、光の国(ウルトラの星)があるかどうかはわからないね。

## イベント情報

### 宇宙ふしぎ探検「月面X(エックス)を見よう」

日時：2026年4月24日(金)19:30~20:50

場所：さじアストロパーク 定員：40人

参加費：一般600円、小人200円(入館料と観望料)



一席「星光の蓮華」  
村川 節秀さんの作品

### ☆期間展示☆

### 第32回星景写真コンテスト入賞作品展

日時：3月18日(水)~6月14日(日)まで

場所：さじアストロパーク

2025年度に募集した、星と風景がいっしょに写った写真のコンテストで入賞した作品を展示しています。

## ★★★今月の開館情報★★★

2026年4月							開館時間 10:00~17:15 (金・土~22:00)
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	夜間予約 19:00~21:00 観望会20:00~
29	30	31	1	2	3	4	
5	6	休	8	9	10	11	
12	13	休	15	16	17	18	
19	20	休	22	23	24	25	
26	27	休	29	30	休	1	2
3	4	今月のイチオシ		<b>月面X (24日)</b>			
夜の観望会 やってます	夜の観望会 予約OK	※イベント・天候などにより変更することがあります。 最新情報はHPをチェック					

### ☆親子で楽しむ星の講座☆

日時：4月5日(日)、5月1日(金)

場所：さじアストロパーク

参加費：一般(高校生以上)300円、  
中学生以下無料 (入館料として)

定員 10組程度(事前にご予約ください)  
星のお話や実験、簡単な工作などをおこなう天文講座です。親子や家族以外の方も参加できます。

### さじアストロパーク・佐治天文台

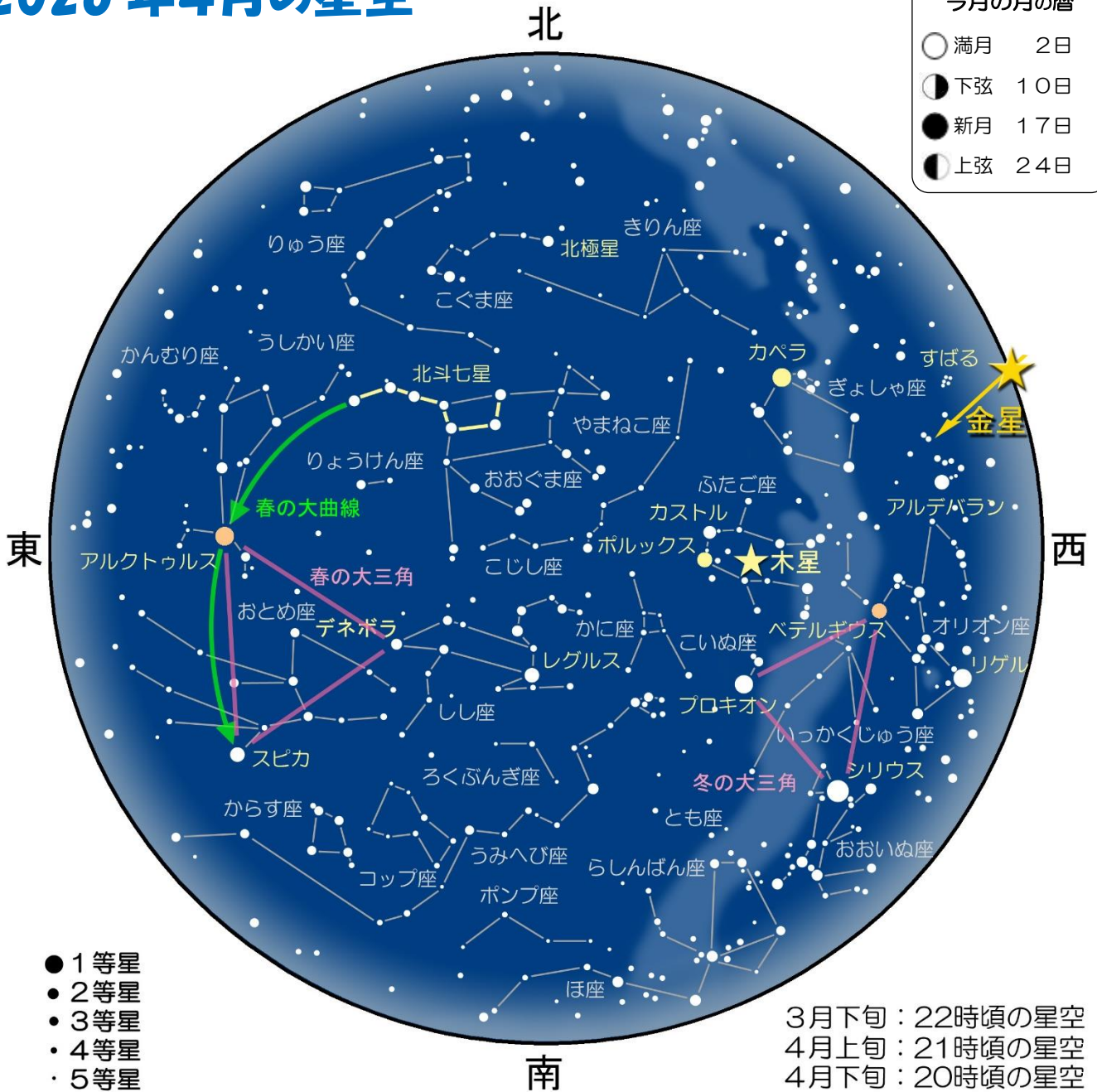
〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp

# 2026年4月の星空

今月の月の暦	
○ 満月	2日
◐ 下弦	10日
● 新月	17日
◑ 上弦	24日



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

3月下旬：22時頃の星空  
 4月上旬：21時頃の星空  
 4月下旬：20時頃の星空

☆4月になりましたね。新年度で環境が変わった方も多いのではないのでしょうか？新しい気持ちで星空を見上げてみましょう。まだまだ寒いので暖かい服装をお忘れなく。

☆西の空高いところにひときわ明るく輝く「木星」がまだまだ見頃。4月下旬にはさらに明るい「金星」が見え始めます。「オリオン座」や「冬の大三角」といった冬の星座は明るい星が多いので西の空はなんとも賑やかですね。南の空を見上げると「しし座」が堂々とした姿を見せています。北の空に「北斗七星」を見つけ、ひしゃくの持ち手のカーブを伸ばして「春の大曲線」を描きましょう。「アルクトゥルス」と「スピカ」、2つの1等星が見つかりますよ。しし座のしっぽにある2等星「デネボラ」を加えて「春の大三角」ができあがりです。

フラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など最新情報は、ホームページ&YouTube 各種SNS(X、Facebook、インスタ)をチェック



# やかんかんぼうかい てんたいかんさつかい 夜間観望会(天体観察会) 103cm 大型望遠鏡で星空観察

木星	1(水)~5(日)
春のメシエ天体を見よう (公開天文台 100 周年記念)	10(金)、11(土)、17(金)、18(土)
宇宙ふしぎ探検「月面Xを見よう」	24(金)
月のクレーター・スマホで撮影体験	25(土)
観望会で月がよく見える	21(火)~26(日)、28(火)、29(水)
観望会で満天の星が楽しめる	5(日)、7(火)~12(日)、15(水)~19(日)



## こんな天体が見ごろです(テーマ:木星と春の星たち)

**木星**  
種類: 惑星  
星座: ふたご座にいます  
明るさ: -2.3等~-2.4等  
距離: 約7億2300km

木星は太陽系の中でいちばん大きな惑星で地球の約11倍もあります。巨大な惑星ですが、自転周期が10時間とかなり早いスピードで回転しています。木星は縞模様が特徴です。この縞模様は小型望遠鏡でも見ることが出来ます。



**レグルス**  
種類: 恒星  
星座: しし座  
明るさ: 1.4等  
距離: 79光年

しし座の胸元に輝く星です。1等星では一番暗い星で、青白く輝いています。レグルスには「小さな王」という意味があります。名付けたのはコペルニクスだといわれています。また、古代ローマ時代は「コル・レオニス(ししの心臓)」と呼ばれていました。



**M51**  
種類: 渦巻銀河  
星座: りょうけん座  
明るさ: 9.0等  
距離: 2800万光年

りょうけん座とおおぐま座の境界線近くにある渦巻銀河です。大小2つの銀河が手をつないでいるように見えることから「子持ち銀河」というニックネームで知られています。



**M3**  
種類: 球状星団  
星座: りょうけん座  
明るさ: 6.2等  
距離: 3万3900光年

りょうけん座の中にある球状星団です。50万個以上の恒星が集まり、その直径は100光年以上あるとされています。初夏の空に見ごろのヘルクス座の球状星団M13と並んで見ごたえのある天体です。星の集まりであることを確認するには、口径8cmくらいの望遠鏡が必要になります。



こんげつ せいざ  
**今月のイチオシ星座**

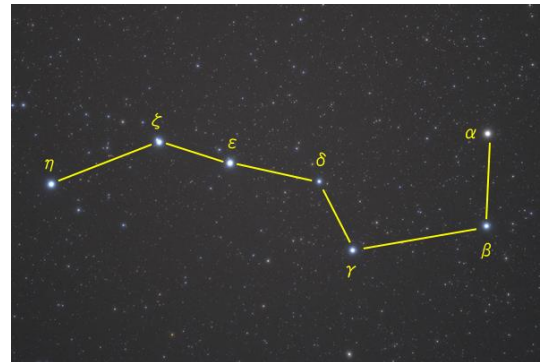
# おおぐま座

はる せいざ おおがた おお  
 春の星座は大型のものが多いです。その  
 なか  
 中のひとつです。

## み 見つけ方



めじるし かつち ほくとしちせい ほくとしちせい  
 目印はひしゃくの形をした「北斗七星」です。北斗七星はお  
 おぐま座の背中から尻尾にかけての一部分です。街中では  
 ほくとしちせい み ぼしよ おお おも  
 北斗七星を見つけるのがやっという場所が多いと思います  
 が、鳥取市佐治町のように星がたくさん見える場所ですと、  
 すべての星をたどることができます。北斗七星を見つけたら  
 そこからおおぐまの姿を想像してみてください。



## 星座の由来・神話



おおぐま座のモデルになっている大熊は、月と狩りの女神アルテミスに仕えるニフのカロストの姿  
 です。大神ゼウスの愛を受け男の子(アルカス)が生まれました。そのことを知ったアルテミスは呪い  
 の言葉を浴びせカロストを熊の姿に変えてしまいました。この熊がおおぐま座になっています。ちなみ  
 に息子のアルカスはこぐま座になっています。

## 主な天体



### ★M81とM82

M81 - 渦巻き銀河 | 180万光年 7.8等

M82 - 不規則銀河 | 150万光年 9.3等

ほくとしちせい がんませい あるふあせい かんかく おな の  
 北斗七星のγ星からα星の間隔を同じだけ延ばしたあたり  
 に、二つの銀河がハの字に並んで見えています。それぞれを観  
 察するのもよいですが低倍率の望遠鏡で宇宙の中に浮かぶ2つの銀河を見るのも良いでしょう。



2013年に発行された星座  
 シリーズ第3集の中に今回  
 のおおぐま座と北斗七星の  
 切手があります。



# プラネタリウムのおしらせ ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 春のテーマ番組 「身近な天体① 月」

2026年2月18日(水)～6月14日(日)まで上映中です!

SAJI Astro Park さじアストロパーク  
**プラネタリウム・オリジナル番組**  
 み じ か てんたい  
**身近な天体①**  
**月**

音楽: Yuta Itani  
 第20回ゴールドコンサートで準グランチャンピオンを受賞!!  
 2022年には、バリコレショーにて音楽提供なども実現した鳥取在住のサウンドクリエイター★  
<https://www.yutaitani.com/>

ナレーション: ノグチ アツシ  
 山陰を拠点にナレーターやミュージシャンとして活動中。  
 また別名「安来のおじ」としてもエフエム山陰のラジオパーソナリティやCM出演でお馴染み。二つの顔を使い分け、多方面で活躍中。

投影期間: 2026(R8)年 2月18日(水) ~ 6月14日(日)

第1部: 専門職員による「今夜の星空生解説」  
 第2部: オリジナル番組「身近な天体①月」

### どんな番組?

さじアストロパークのオリジナル番組新シリーズ「身近な天体」の第1弾! 今回は私たちに一番身近な天体である「月」をテーマに、月にまつわる、いろいろな話題をご紹介します!

### 制作者から一言

音楽は鳥取県在住のサウンドクリエイター・井谷優太さん、ナレーションは鳥取市在住のノグチアツシさん(安来のおじ)。オール鳥取で制作したオリジナル番組です。

### 月から生まれた身近なもの、とは??

月は「三日月」「半月」「満月」と、いろいろな形に変わります。これを「月の満ち欠け」と言います。月の満ち欠けから生まれた身近なものがありますが、为什么呢? 生活でよく使いますし、みなさんのうちに必ずあります。答えはプラネタリウムで!!

投影開始時刻	平日	10:30 ~	なし	14:00 ~	16:00 ~
	土・日・祝	10:30 ~	12:30 ~	14:00 ~	16:00 ~

投影時間(約45分間) 前半(約20分): 専門職員による今夜の星空生解説  
 後半(約25分): 季節ごとのテーマ番組

プラネタリウム観覧料 大人300円、小中学生200円(入館料別)

※イベントや団体利用などで開始時刻が変わる場合があります。  
 最新情報は [HP](#) をご確認ください。

# 宇宙ふしぎ探検



## げつめんエックス み 「月面Xを見よう」

日時：2026年4月24日（金）19：30～20：50

19：30～19：50 月面Xの説明（会議室）

20：00～20：50 月面Xの観察・撮影体験（4階観測室）

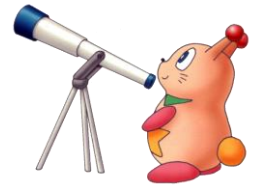
参加費：一般（高校生以上）600円、小人（小中学生）200円

（入館料・観望料として）

定員：20人（予約が必要です）

その他：観察会終了後、月の撮影体験（103cm望遠鏡、15cm望遠鏡）

天候不良時は、プラネタリウムで星空解説

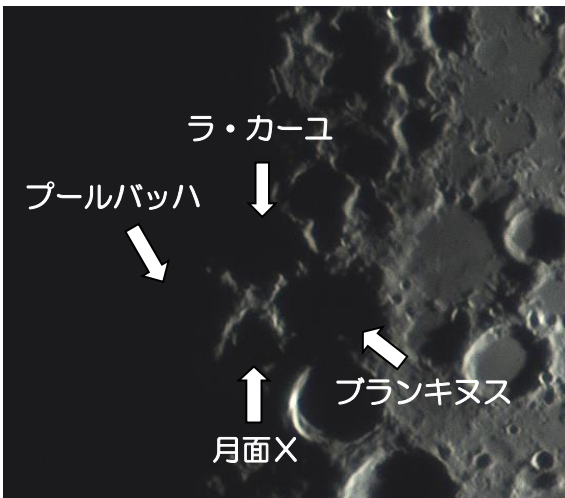


### げつめん 月面Xとは

「月面X」とは月面に太陽光があたり、アルファベットの「X」の文字が浮かびあがる現象です。秤動と呼ばれる月の自転軸の動きによって起こります。ですので、上弦の月のころ毎回見ることが出来るわけではありません。また、望遠鏡を使わないと見ることはできません。

### どう見える？

「X」の文字が見えるのは、月の明暗の境界付近にある、「ブランキヌス」、「ラ・カーユ」、「プールバッハ」のあたりです。この3つのクレーターの縁に太陽の光があたり、「X」の文字が浮かび上がって見えます。いちばんの見ごろは20時20分ころですが、前後1時間は見る事ができます。このあと4回「月面X」の現象が起きますが、次に条件良く見ることができるのは12月16日（水）18時40分頃です。



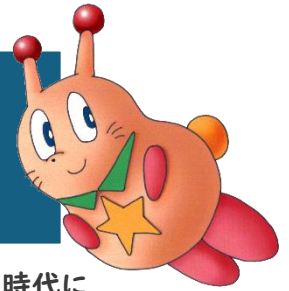
### ほかにも文字が見える？ 月面LOVE♡

「月面X」の他にも文字を見ることができます。右の画像をご覧ください。「X」の右側に「O」、下のほうにさかさまになった「E」、その下のほうに「L」、「X」の上のほうに「V」の文字を見ることができます。この4つの文字をあわせると「月面LOVE」になります。「X」以外の文字も探してみてください。もしかすると有名なネズミのキャラクターが見えるかも・・・



気軽に星空をたのしもう!

# キラットちゃんの耳より情報コーナー★ 「夕方の空を撮影してみよう！」



スマートフォンのアプリで星座を探したり、カメラのナイトモード等で星空や月が撮れる時代になりました。気軽にチャレンジしてみましよう★

## 今回のターゲットはこちら!

夕方の西の空を眺めるとおもしろい形の雲があったり、月が見えていたり、宵の明星(金星)が見えることも!?毎日違うことに気が付きます。夕焼けの色も注目です!

# 夕方の空 晴れた日の西の空



## 楽しみ方 ★★★★★★★★★★

- ★沈む夕日を眺めていると、刻々と変化する空の色や明るさを楽しめます。
- ★日没後の空が薄っすら明るい時間のことを専門用語では「薄明(はくめい)」といいます。空の様子が美しく撮影できるので「マジックアワー」何て呼び方も。三日月のころはオレンジや紫の空に浮かぶ幻想的な月が見つかりますよ。

## 撮影のコツ ★★★★★★★★★★

- ★撮影中はなるべく動かないように!  
人間の目ではまだまだ明るく見えていても、スマホやデジカメにとってはかなり厳しいのがこの時間帯です。しっかりと持って優しくシャッターを押しましょう。近くの手すりなどを支えに利用して撮影しても良いですね。最近のスマホは自動で「夜景モード」等の機能を使ってきれいに撮影してくれます。
- ★あると嬉しい三脚(さんきゃく)  
三脚と聞くと「なんだか本格的で大がかり・・・。」と感じるかもしれませんがポケットに入るぐらいコンパクトなものもあります。100円ショップや家電量販店でお手軽なものも増えてきたので「もっと綺麗に撮りたい!」と思ったら探してみましよう!



## 一言メモ ★★★★★★★★★★

ここ数年で空の写真が手軽にきれいに撮れるようになりました。スマホカメラの進化がすさまじいですね。機種にもよりますがスマホカメラの撮影はズームせずに「×1」での撮影がおすすめです。もっともよく使われるので、一番性能が良いレンズがついていることが多いですね。(スタッフY)

# アストロ活動報告

2月中旬から3月中旬にあった日々の出来事やちょっとした事件、イベントの様子をお伝えします。

## 雪まつりが大雪で中止 2026年2月8日(日)

第31回雪まつりが大雪のため中止となりました。コロナ騒動を除き、3大まつりが天候で中止となったのは初めてで、楽しみにされていた皆さんに申し訳なく思います。



## 美しい星空が広がりました 2026年2月18日(水)

今年の冬はなかなか晴れてくれませんが、2月18日(水)は久しぶりに快晴となり、美しい星空が広がりました。(← 画像)



これらの画像はXなどで公開しています。



## 夕方の西空に月・水星・土星が見えた 2026年2月19日(木)

18時半過ぎ、西空に「月」「水星」「土星」がならんで見えました。特に太陽に一番近い水星はなかなか見るチャンスがなく、2月下旬、太陽から離れて見ごろとなりました。ちょうど飛行機も通過し、画面に花を添えてくれました。(画像 →)



## 宇宙ふしぎ探検「皆既月食を見よう」を実施しました

2026年3月3日(火)

早い時間帯で見やすい皆既月食の観察会を行いました。当日は雨で、残念ながら月食を見ることができませんでした。NHK 鳥取放送局の生中継が入ったり、晴れているところの月食中継を見たりして楽しみました。

## 明るくなるか、マップス彗星 2026年3月10日(火)

太陽に大接近するクロイツ群の彗星であるマップス彗星 C/2026 A1 (Maps)が、4月上旬の太陽大接近に向けて夕方の南西の低空に見えています。103 cm望遠鏡でとらえた姿は10.9等と、まだまだ暗いですが、どうなるでしょうか？ 太陽に接近した消滅するという予報がありますが、何とか通過して、すばらしい姿になってほしいですね。



## 【今月の1枚】きりん座の銀河 NGC2403

春先に見ごろとなりますが、淡く見づらい天体です。ただ103 cm望遠鏡で撮影すると、ちょうど視野によく感じて納まり、またカラフルに写ってくれるので、思わず毎年撮影してしまう天体です。(Ori)